

0U 24 C13 PDU および
0U 12 C19 / 12 C13 PDU



取り付けおよび保守の手引き

0U 24 C13 PDU および
0U 12 C19 / 12 C13 PDU



取り付けおよび保守の手引き

お願い

注: 本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、29 ページの『付録 B. 特記事項』に記載されている一般情報を読み、ご使用の電力配分装置 (PDU) に付属の資料「保証情報」を参照してください。

本装置は、高調波電流規格 **JIS C 61000-3-2** に適合しています。

本製品およびオプションに電源コード・セットが付属する場合は、それぞれ専用のものになっていますので他の電気機器には使用しないでください。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典: 0U 24 C13 Basic PDUs and
0U 12 C19 / 12 C13 Basic PDUs
Installation and Maintenance Guide

発行: 日本アイ・ピー・エム株式会社

担当: トランスレーション・サービス・センター

第1版第1刷 2013.10

© Copyright IBM Corporation 2010.

目次

安全について	v
第 1 章 概要	1
IBM Documentation CD	1
ハードウェアおよびソフトウェアの要件	2
Documentation Browser の使用	2
本書で使用する注記	4
取り付けの要件	4
インベントリ・チェックリスト	5
PDU の機能	6
前面のコンポーネントおよび制御部	6
PDU の負荷グループ	7
回路ブレーカー	8
第 2 章 PDU を縦方向にラック・キャビネットに取り付ける	9
IBM S2 42U スタンダード・ラック・キャビネット (Type 9307 および 9956) での PDU の取り付け	11
IBM Enterprise ラック・キャビネット (Type 1410 および Type 9308) での PDU の取り付け	14
ラック・キャビネット (組み込み PDU 取り付け用かぎ穴付き) での PDU の取 り付け	17
第 3 章 交換可能 PDU 部品	19
第 4 章 PDU の仕様	21
付録 A. ヘルプおよび技術援助の入手	25
依頼する前に	25
資料の使用	26
ヘルプおよび情報を WWW から入手する	26
IBM への Dynamic System Analysis データの送信方法	26
個別設定された Web ページの作成	27
ソフトウェアのサービスとサポート	27
ハードウェアのサービスとサポート	27
付録 B. 特記事項	29
商標	29
重要事項	30
サーバーの廃棄・譲渡時のハード・ディスク上のデータ消去に関するご注意	31
粒子汚染	32
索引	33

安全について

Before installing this product, read the Safety Information.

قبل تركيب هذا المنتج، يجب قراءة الملاحظات الأمنية

Antes de instalar este produto, leia as Informações de Segurança.

在安装本产品之前，请仔细阅读 **Safety Information**
(安全信息)。

安裝本產品之前，請先閱讀「安全資訊」。

Prije instalacije ovog produkta obavezno pročitajte Sigurnosne Upute.

Před instalací tohoto produktu si přečtěte příručku bezpečnostních instrukcí.

Læs sikkerhedsforskrifterne, før du installerer dette produkt.

Lees voordat u dit product installeert eerst de veiligheidsvoorschriften.

Ennen kuin asennat tämän tuotteen, lue turvaohjeet kohdasta Safety Information.

Avant d'installer ce produit, lisez les consignes de sécurité.

Vor der Installation dieses Produkts die Sicherheitshinweise lesen.

Πριν εγκαταστήσετε το προϊόν αυτό, διαβάστε τις πληροφορίες ασφάλειας
(safety information).

לפני שתתקינו מוצר זה, קראו את הוראות הבטיחות.

A termék telepítése előtt olvassa el a Biztonsági előírásokat!

Prima di installare questo prodotto, leggere le Informazioni sulla Sicurezza.

製品の設置の前に、安全情報をお読みください。

본 제품을 설치하기 전에 안전 정보를 읽으십시오.

Пред да се инсталира овој продукт, прочитајте информацијата за безбедност.

Les sikkerhetsinformasjonen (Safety Information) før du installerer dette produktet.

Przed zainstalowaniem tego produktu, należy zapoznać się
z książką "Informacje dotyczące bezpieczeństwa" (Safety Information).

Antes de instalar este produto, leia as Informações sobre Segurança.

Перед установкой продукта прочтите инструкции по технике безопасности.

Pred inštaláciou tohto zariadenia si pečítajte Bezpečnostné predpisy.

Pred namestitvijo tega proizvoda preberite Varnostne informacije.

Antes de instalar este producto, lea la información de seguridad.

Läs säkerhetsinformationen innan du installerar den här produkten.

重要:

すべての「注意」と「危険」の注意書きには番号が付いています。この番号は、英語の『*Safety Information*』の Caution と Danger と対応する翻訳文の「注意」と「危険」を相互参照するのに使用します。

例えば、「Caution」の注意書きに数字の 1 が付いていた場合、「*IBM Safety Information*」資料を見ればその注意書きに対応した 1 の翻訳文が見つかります。

この資料で述べられている手順を実施する前に「注意」と「危険」の注意書きをすべてお読みください。また、サーバーやオプションの装置に付属して追加の注意と危険の注記がある場合は、それもすべて装置の取り付け前にお読みください。

安全 1:



危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの接続手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. 装置の電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

安全 13:



危険

分岐回路に過負荷がかかると発火や感電の危険性が生じます。このような危険を避けるためシステムが必要とする電源容量が電源回路の安全容量を超えないことを確認してください。ご使用の装置の電気仕様は装置に付属のマニュアルに記載されています。

安全 14:



注意:

危険な電圧、電流、電力が存在します。 次のラベルが貼られている場所のカバーを外すことが許されるのは訓練を受けたサービス技術員だけです。



重要:

- PDU には保守可能部品はありません。
- PDU を電源からすぐに切り離せるように、装置の近くで手の届きやすい場所に電源コンセントを配置するようにしてください。

火災の危険を減らすために、米国電気工事規程 (NEC) ANSI/NFPA 70 または地域の電力法規に準拠するアンペア定格の分岐回路の過電流保護を備えた回路のみに接続してください。

モデル部品番号	i/p ブレーカー	お願い
46M4122、46M4123、46M4124	16 本の A/4 ポール	IEC/EN 60934 接触エアー・ギャップは 3 mm 必要
46M4125、46M4126、46M4127	30 本の A/3 ポール	UL489/CSA C22.2 No.5.1
46M4128、46M4129、46M4130	30 本の A/2 ポール	UL489/CSA C22.2 No.5.1
46M4131、46M4132、46M4133	32 本の A/2 ポール	IEC/EN 60934 接触エアー・ギャップは 3 mm 必要
46M4140、46M4141、46M4142	50 本の A/3 ポール	UL489/CSA C22.2 No.5.1
46M4143、46M4144、46M4145	32 本の A/4 ポール	IEC/EN 60934 接触エアー・ギャップは 3 mm 必要

第 1 章 概要

IBM® 0U PDU 製品により、最大 12 個の C19 装置または最大 24 個の C13 装置 (PDU モデルにより異なります) を単一の専用電源に接続することができます。

以下の PDU モデルが用意されています。

注: 各 PDU モデルには、取り付け済みの電源コードが付属しています。

- 46M4122 - IBM 0U 24 C13 16 A PDU
- 46M4125 - IBM 0U 24 C13 30 A PDU*
- 46M4128 - IBM 0U 24 C13 30 A PDU*
- 46M4131 - IBM 0U 24 C13 32 A PDU
- 46M4140 - IBM 0U 12 C19 / 12 C13 50 A PDU*
- 46M4143 - IBM 0U 12 C19 / 12 C13 32 A PDU

* アスタリスク (*) が付いているモデル用の入力電流低減規制 [北米] は、22 ページの表 7 に示されています。

ファームウェアおよび資料の更新が利用可能な場合は、IBM Web サイトからダウンロードすることができます。PDU には PDU に付属の資料で説明されていない機能もあります。それらの機能に関する情報を反映するために資料はときどき更新されます。また、PDU 資料に記載されていない追加情報を提供する技術更新情報を入手することができます。更新を確認するには、次のステップを実行してください。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。ファームウェアと資料を検索する手順は、本書で説明する手順とは多少異なる場合があります。

1. <http://www.ibm.com/systems/support/> にアクセスします。
2. 「**Hardware upgrades**」をクリックします。
3. 「Support for IBM Upgrades」ページの「**Product family**」フィールドで、「**Power**」を選択します。
4. 「**Type**」フィールドで「**Distributed power interconnect (DPI)**」を選択します。
5. 「**Part number**」フィールドで、該当する PDU の部品番号を選択します。
6. 「**Go**」をクリックします。
7. 「Support for Power」ページで、ファームウェアを更新する場合は「**Downloads**」をクリックし、ドキュメンテーションを更新する場合は「**Install/use**」をクリックします。

IBM Documentation CD

IBM Documentation CD には、PDU に関する資料が PDF 形式で収められており、また情報を素早く検索するために役立つ IBM Documentation Browser が収録されています。

ハードウェアおよびソフトウェアの要件

IBM *Documentation* CD には、以下の最小ハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

- Microsoft Windows XP、Windows 2000、または Red Hat Linux
- 100 MHz マイクロプロセッサ
- 32 MB の RAM
- Adobe Acrobat Reader 3.0 (またはそれ以降)、または Linux オペレーティング・システムに付属の xpdf

Documentation Browser の使用

Documentation Browser は、本 CD の内容のブラウズ、資料の簡単な記述の読み取り、および Adobe Acrobat Reader または xpdf による資料の表示などを行う場合に使用します。Documentation Browser は、ご使用のコンピューターの地域設定を自動的に検出し、その地域の言語で資料を表示します (提供されている場合)。資料がその地域の言語で表示できない場合は、英語版が表示されます。

以下の操作のいずれかを行って、Documentation Browser を開始できます。

- 「Autostart (自動再生)」が有効な場合は、CD を CD または DVD ドライブに挿入します。Documentation Browser は自動的に開始します。
- 自動始動が使用不可になっている場合、またはすべてのユーザーに対して使用可能になっていない場合は、次の手順のいずれかに従います。

- Windows オペレーティング・システムを使用している場合は、CD を CD または DVD ドライブに挿入して、「スタート」-->「ファイル名を指定して実行」をクリックします。「名前 (Open)」フィールドに次のように入力します。

```
e:¥win32.bat
```

ここで、「e」は、CD または DVD ドライブのドライブ名です。「OK」をクリックします。

- Red Hat Linux を使用している場合は、CD または DVD ドライブに CD を挿入し、/mnt/cdrom ディレクトリーから次のコマンドを実行します。

```
sh runlinux.sh
```

「**Product**」メニューから PDU を選択します。「**Available Topics**」リストに、PDU に関する資料がすべて表示されます。一部の資料は、フォルダーに入っている場合があります。正符号 (+) は、それぞれのフォルダーまたは資料の下に追加の資料があることを示します。正符号をクリックすると、それらの追加資料が表示されます。

資料を選択すると、資料の説明が「**Topic Description**」の下に表示されます。複数の文書を選択するには、Ctrl キーを押したままそれらの文書を選択します。「**資料を表示する (View Book)**」をクリックすると、選択した 1 つ以上の資料が Acrobat Reader または xpdf で表示されます。複数の文書を選択した場合は、選択したすべての文書が Acrobat Reader または xpdf で表示されます。

すべての資料から検索を行うには、ワードまたはワード・ストリングを「**Search (検索)**」フィールドに入力し、「**Search (検索)**」をクリックします。そのワードま

たはワード・ストリングを含んでいる資料が、最も多く含んでいるものから順にリストされます。文書を表示するにはその文書をクリックし、その文書内で、Ctrl+F を押して Acrobat の検索機能を使用するか、または Alt+F を押して xpdf の検索機能を使用します。

「**Help (ヘルプ)**」を使用すると、Documentation Browser の使用方法の詳細が表示されます。

本書で使用する注記

本書の注意と危険に関する注記は、マルチリンガルの「*Safety Information*」にも記載されています。この資料は、*IBM Documentation* CD に収録されています。各注記には、「*Safety Information*」資料の対応する注意および危険に関する注記を簡単に参照できるように、番号が付けられています。

本書では、次の注記が使用されます。

- **注:** これらの注記には、重要なヒント、説明、助言が書かれています。
- **重要:** これらの注記には、不都合な、または問題のある状態を避けるのに役立つ情報または助言が書かれています。また、これらの注記は、プログラム、装置、またはデータに損傷を及ぼすおそれのあることを示します。「重要」の注記は、損傷を起こすおそれのある指示や状態の記述の直前に書かれています。
- **注意:** これらの注記は、ユーザーに対して危険が生じる可能性がある状態を示します。「注意」の注記は、危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。
- **危険:** これらの注記は、ユーザーに対して致命的あるいはきわめて危険となりうる状態を示します。「危険」の注記は、致命的あるいはきわめて危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。

取り付けの要件

PDU をラック・キャビネットに取り付けるには以下の工具が必要です。

- プラス・ドライバー 1 本
- 10 mm レンチ 1 本
- ケージ・ナット挿入ツールまたはマイナス・ドライバー 1 本 (一部のラック・キャビネットでケージ・ナットを取り付ける際に使用)

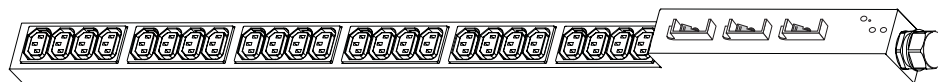
PDU は、ラック・キャビネットの側面に縦方向に取り付けます。詳しくは、9 ページの『第 2 章 PDU を縦方向にラック・キャビネットに取り付ける』を参照してください。

インベントリー・チェックリスト

注: 本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

すべての PDU モデルに、以下の部品が付属しています。

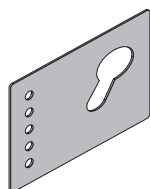
- 以下の PDU モデル・タイプのいずれか:
 - 0U 24 C13 PDU (取り付け済み電源コード付き)



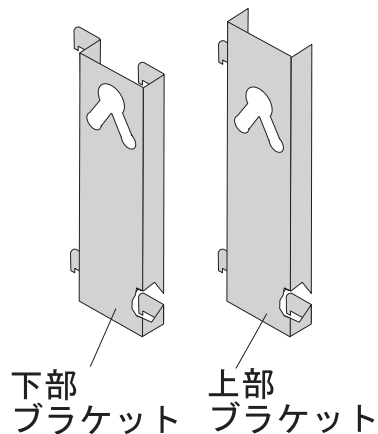
- 0U 12 C19 / 12 C13 PDU (取り付け済み電源コード付き)



- 以下の 0U PDU 取り付けブラケット。
 - IBM S2 42U スタンダード・ラック・キャビネット (Type 9307、9956) (ブラケット 2 個)



- IBM Enterprise ラック・キャビネット (Type 1410、9308) (上部ブラケット 1 個と下部ブラケット 1 個)



- 各種ハードウェア・キット (取り付けブラケットを PDU に、PDU をラック・キャビネットに取り付けるためのもの)

注:

1. PDU に接続する装置用の電源ケーブルは、PDU に付属しません。
2. PDU の取り付け方法によっては、使用しない部品もあります。

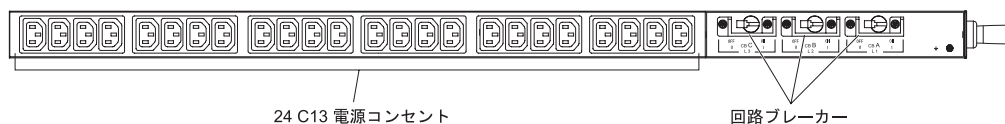
PDU の機能

PDU モデルには、以下の機能があります。

- 電子過電流保護
- 最大 22 kW の大容量
- リセット可能な回路ブレーカー
- UL489 定格の回路ブレーカー

前面のコンポーネントおよび制御部

次の図は、前面に 24 個の C13 コンセントが備わっている PDU の前面にあるコンポーネントと制御部を示しています。



次の図は、前面に 12 個の C19 コンセントが備わっている PDU の前面にあるコンポーネントと制御部を示しています。



C13 および C19 の電源コンセント

装置は各電源コンセントに接続できます。

回路ブレーカー

電源コンセントの電流負荷定格が 20 A を超えると、関連した回路ブレーカーがトグル・ハンドルを通じて作動し、コンセントへの電源は自動的にオフになります。回路ブレーカーをリセットするには、ブレーカーを「Off」から「On」に変えます。

注: PDU に接続された装置の電源を手動で切断するには、装置の電源コードを PDU の電源コンセントから切断します。

PDU の負荷グループ

PDU の負荷グループを次の表に記載します。

表 1. 0U 24 C13 PDU 負荷グループ

回路ブレーカー番号	関連するコンセント
1	1
	2
	3
	4
	5
	6
	7
	8
2	9
	10
	11
	12
	13
	14
	15
	16
3	17
	18
	19
	20
	21
	22
	23
	24

表 2. 0U 12 C19 / 12 C13 PDU 負荷グループ

回路ブレーカー番号	関連するコンセント
1	1
	2
	3
	4
2	5
	6
	7
	8
3	9
	10
	11
	12
4	13
	14
	15
	16
5	17
	18
	19
	20
6	21
	22
	23
	24

回路ブレーカー

各 PDU には、6 個または 12 個のコンセントのペアごとに 1 個の 20 A 予備回路ブレーカーが備わっています。これらの回路ブレーカーは、6 ページの『前面のコンポーネントおよび制御部』の図に示されているとおり、PDU の前面にあります。

第 2 章 PDU を縦方向にラック・キャビネットに取り付ける

この章では PDU を、以下のラック・キャビネットのいずれかに縦方向に取り付ける方法を説明します。

- IBM S2 42U スタンダード・ラック・キャビネット (Type 9307 および 9956)
- IBM Enterprise ラック・キャビネット (Type 1410 および 9308)
- ラック・キャビネット (組み込み PDU 取り付け用かぎ穴付き)

安全 1:



危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの接続手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. 装置の電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

注: ラックのドアおよびサイド・パネルを取り外しておくと、取り付けが容易になります。詳しくは、ラック・キャビネットの資料を参照してください。

ラック・キャビネットの付属資料で、安全とケーブル接続に関する情報をよく見ておいてください。PDU をラック・キャビネットに取り付ける際は、以下の予防措置を取ってください。

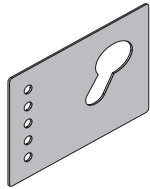
- 室温は 35°C 以下となるようにしてください。
- 通風孔を妨げないようにします。通常、15 cm の通気用スペースがあれば、通気は適切に保たれます。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ラック・キャビネットに複数の装置を取り付ける場合は、電源コンセントが過負荷にならないようにします。

IBM S2 42U スタンダード・ラック・キャビネット (Type 9307 および 9956) での PDU の取り付け

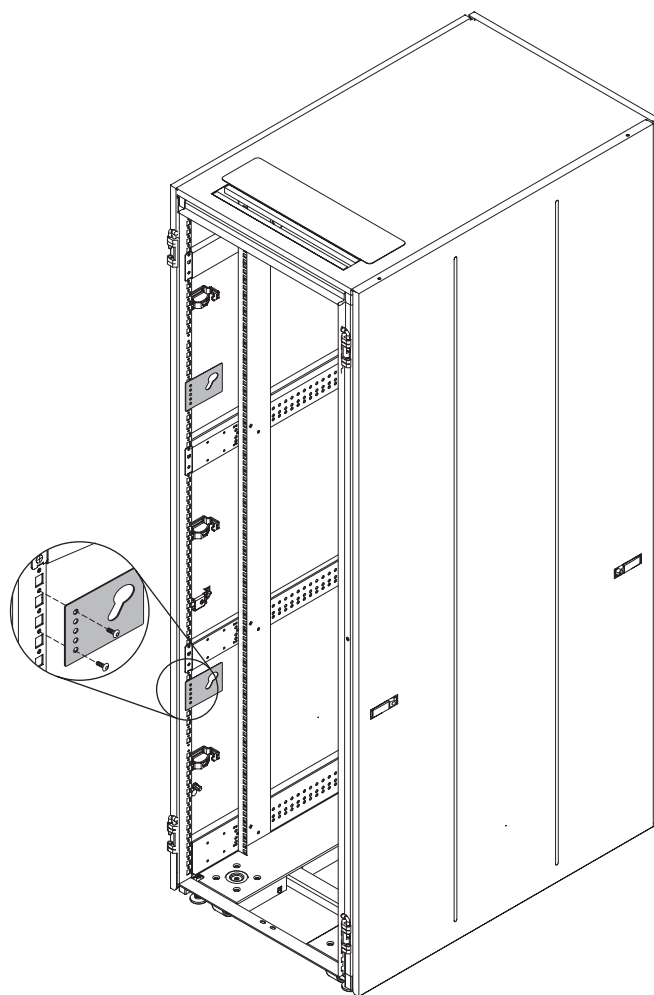
注: ご使用のラック・キャビネット構成の要件によって、以下の手順での説明とは異なる場所に PDU を取り付ける場合があります。

IBM S2 42U スタンダード・ラック・キャビネットの 1U マウント・スペースに PDU を取り付ける場合には、以下のステップを実行します。

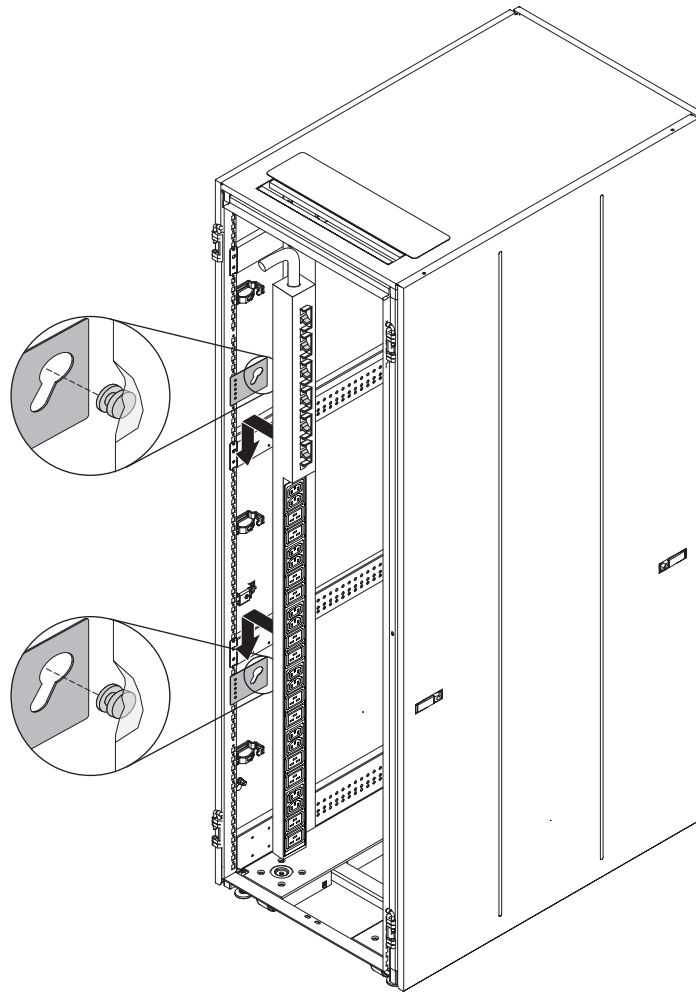
1. PDU に付属のハードウェア・キットから、S2 42U ラック・キャビネット用の対応する取り付けブラケットを選びます。ラック取り付けブラケットは 2 個必要です。対応するブラケットを、次の図に示します。



2. 上部ラック取り付けブラケットの穴と、ラック・フレームの穴の位置を合わせます。ハードウェア・キットに付属の 2 本の M5 ねじを使用して、ブラケットをラック・フレームにしっかり固定します。下部ラック取り付けブラケットについても、このステップを繰り返します。



3. PDU を縦方向に向け、PDU の 2 つの引き当てを、ラック取り付けブラケットのかぎ穴スロットに挿入します。押し込んで、PDU を所定の位置に固定します。

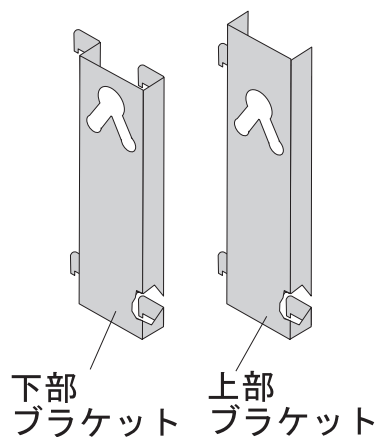


IBM Enterprise ラック・キャビネット (Type 1410 および Type 9308) での PDU の取り付け

注: ご使用のラック・キャビネット構成の要件によって、以下の手順での説明とは異なる場所に PDU を取り付ける場合があります。

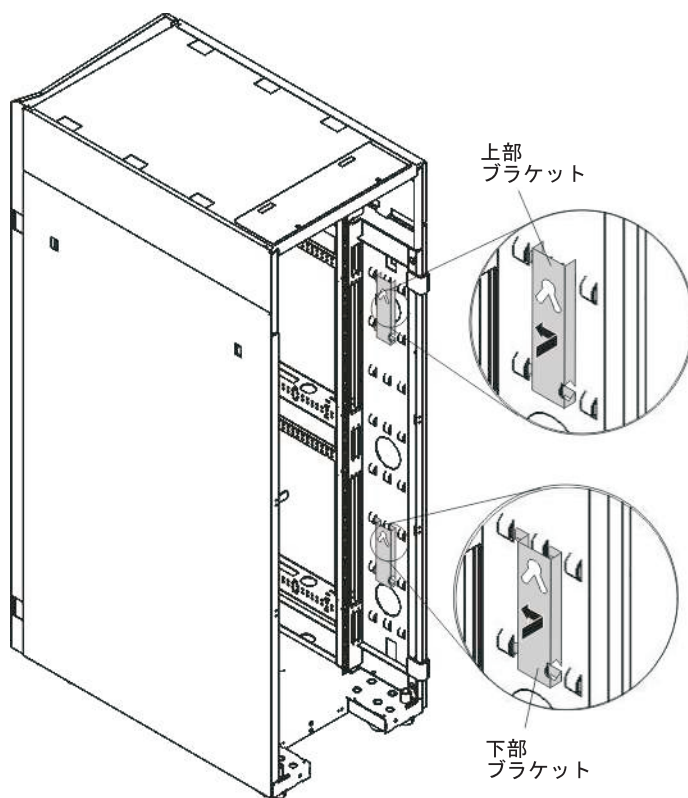
IBM Enterprise ラック・キャビネットの側面の 1U マウント・スペースに PDU を取りつける場合は、以下のステップを実行します。

1. PDU に付属のハードウェア・キットから、Enterprise ラック・キャビネット用の対応する取り付けブラケットを選びます。上部ラック取り付けブラケットが 1 つと、下部ラック取り付けブラケットが 1 つ必要です。対応するブラケットを、次の図に示します。

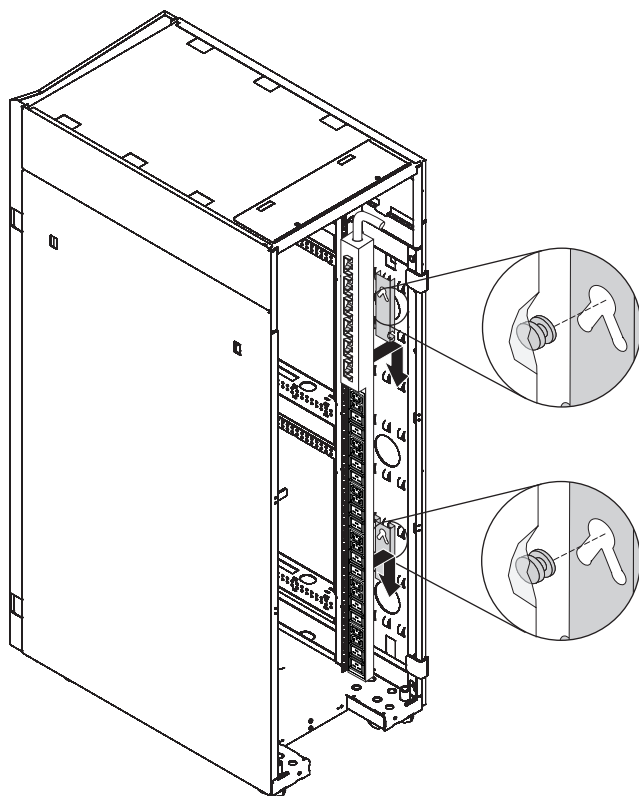


2. 上部ラック取り付けブラケットを、ラック・フレームの穴の位置に合わせます。ブラケットのラック・キャビネットでの対応する位置を、次の図に示します。ブラケット取り付けタブをフレームの穴に差し込んでから、ブラケットを左方向へ押して固定します。下部ラック取り付けブラケットについて、このステップを繰り返します。

注: ラック・キャビネットで、以下の図に示されているのとは反対の側に PDU を取り付けの場合は、ラック取り付けブラケットを右に押して固定する必要があります。 it.



3. PDU を縦方向に向け、PDU の 2 つの引き当てを、両方のラック取り付けブラケットのかぎ穴スロットに挿入します。押し込んで、PDU を所定の位置に固定します。



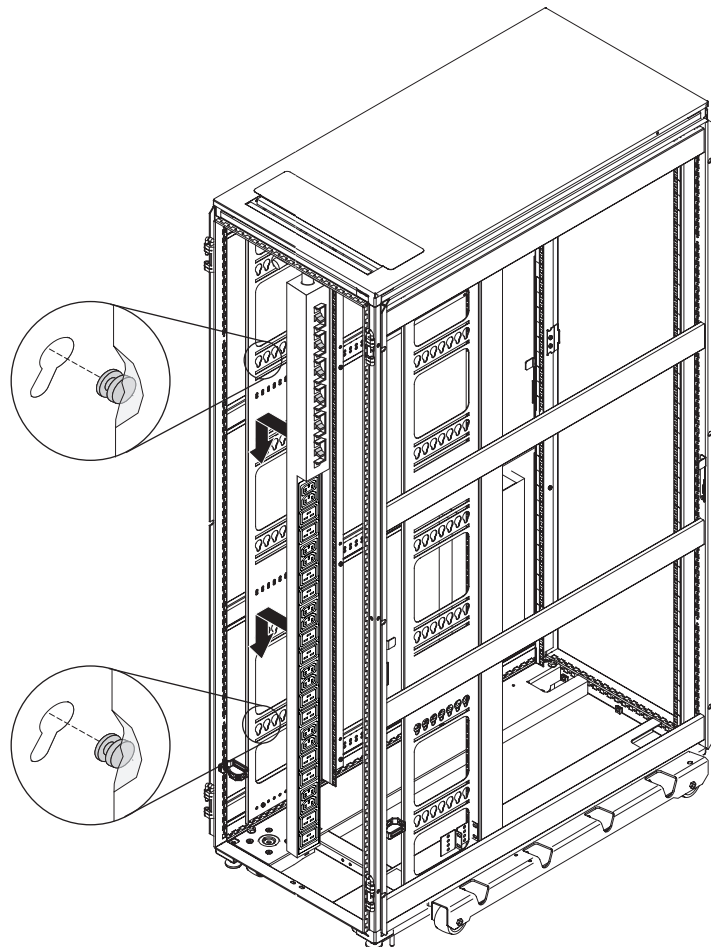
ラック・キャビネット (組み込み PDU 取り付け用かぎ穴付き) での PDU の取り付け

注: ご使用のラック・キャビネット構成の要件によって、以下の手順での説明とは異なる場所に PDU を取り付ける場合があります。

PDU 取り付け用かぎ穴スロットがラック・キャビネットの側面に組み込まれているラック・キャビネットに PDU を取り付けるには、このセクションの手順を実行します。

PDU 取り付けかぎ穴が組み込まれているラック・キャビネットの側面に PDU を取り付けるには、以下のステップを実行します。

1. ラック・キャビネットの背面で、PDU の場所を選びます。
2. PDU を縦方向に向け、PDU の 2 つの引き当てを、ラック・キャビネットの側面にあるかぎ穴スロットに挿入します (次の図を参照)。押し込んで、PDU を所定の位置に固定します。



第 3 章 交換可能 PDU 部品

交換可能 PDU 部品は、Tier 1 の CRU (お客様交換可能ユニット) です。IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換は、お客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

保証の条件に関する情報については、PDU に付属の資料「保証情報」を参照してください。サービスと支援を受ける方法については、25 ページの『付録 A. ヘルプおよび技術援助の入手』を参照してください。

重要: PDU には保守可能部品はありません。

表 3. PDU お客様交換可能ユニット部品番号

PDU のタイプ	オプションの部品番号	Tier 1 の CRU 部品番号
IBM 0U 24 C13 16 A PDU (取り付け済み電源コード付き)	46M4122	46M4124
IBM 0U 24 C13 30 A PDU (取り付け済み電源コード付き)	46M4125	46M4127
IBM 0U 24 C13 30 A PDU (取り付け済み電源コード付き)	46M4128	46M4130
IBM 0U 24 C13 32 A PDU (取り付け済み電源コード付き)	46M4131	46M4133
IBM 0U 12 C19 / 12 C13 50 A PDU (取り付け済み電源コード付き)	46M4140	46M4142
IBM 0U 12 C19 / 12 C13 32 A PDU (取り付け済み電源コード付き)	46M4143	46M4145
ストリップ (0U) 各種ハードウェア・キット		81Y2345

第 4 章 PDU の仕様

本章の表には PDU の製品仕様を記載しています。

表 4 に、PDU の説明を示します。表 4 の左欄にある PDU 番号は、本章の他の仕様表の PDU 番号と一致します。

表 4. PDU の説明

PDU 番号	PDU のタイプ
1	16 アンペア / 240 V 3 相 0U 24 C13 PDU (IEC 309 3P+N+Gnd コネクター付き)
2	30 アンペア / 208 V 3 相 0U 24 C13 PDU (NEMA 固定 3M L21-30P コネクター付き)
3	30 アンペア / 208 V 単相 0U 24 C13 PDU (NEMA 固定 3M L6-30P コネクター付き)
4	32 アンペア / 240 V 単相 0U 24 C13 PDU (IEC 309 P+N+Gnd コネクター付き)
5	50 アンペア / 208 V 3 相 0U 12 C19 & 12 C13 PDU (固定 3 M 50 A コネクター付き)
6	32 アンペア / 240 V 3 相 0U 12C19 & 12 C13 PDU (固定 3M IEC 309 3P+N+Gnd コネクター付き)

表 5. PDU 動作仕様

高さ	85 mm
幅	44.5 mm
奥行き	900 mm (PDU 番号 1、2、3、および 4) 1200 mm (PDU 番号 5 および 6)
クリアランス・スペース	25 mm (0.98 in.) 回路ブレーカー用
作動温度 (0 - 914 m) (室温)	0°C - 55°C
作動温度 (914 -2133 m) (室温)	0°C - 55°C
動作環境湿度	5% - 90% (結露なし)
PDU 内の局所温度	最大 55°C
動作時の最大高度	3048 m (10,000 ft)

表 6. PDU の重量 (取り付け済み電源コードを含む)

PDU 番号 (表 4を参照)	質量
1	5.5 kg
2	6.2 kg
3	5.5 kg
4	5.4 kg
5	9.7 kg
6	7.8 kg

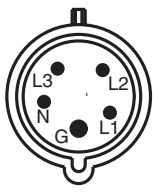
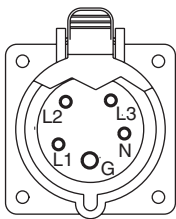
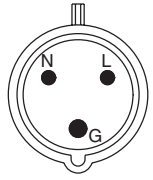
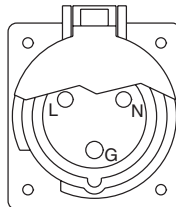
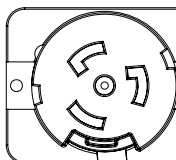
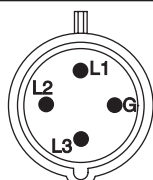
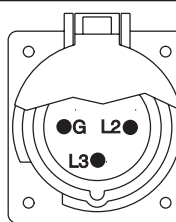
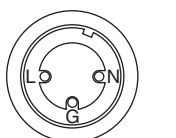
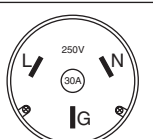
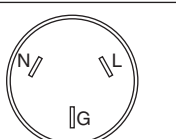
表 7. PDU 電気仕様

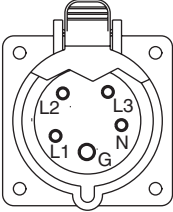
PDU 番号 (21 ページの表 4を参照)	定格電圧、定格電流	最大電力定格
1	220 - 240 V AC、16 アンペア、3 相	4320 VA
2	200 - 208 V AC、30 アンペア、3 相 (入力電流低減規制 [北米] 24 A)	18720 VA
3	200 - 208 V AC、30 アンペア、単相 (入力電流低減規制 [北米] 24 A)	6240 VA
4	220 - 240 V ac、32 アンペア、単相	7680 VA
5	200 - 208 V AC、50 アンペア、3 相 (入力電流低減規制 [北米] 40 A)	31200 VA
6	220 - 240 V AC、32 アンペア、3 相 Y 字状	22920 VA
定格周波数 50 - 60 Hz		

表 8. PDU 回路ブレーカー、電源コンセント、および電源コードの仕様

PDU 番号 (21 ページの表 4を参照)	回路ブレーカー	電源コンセント	電源コード
1	20 アンペア定格の二重ポール・ブランチ回路ブレーカー、3 つ	定格 10 アンペア (VDE) / 15 アンペア (UL/CSA) の IEC 320 - C13 コンセント、24 個	L6-30P
2			IEC 309
3			L21-30P
4			IEC 309
5	20 アンペア定格の 2 重ポール・ブランチ回路ブレーカー、6 つ	定格 10 アンペア (VDE) / 15 アンペア (UL/CSA) の IEC 320 - C13 コンセント が 12 個、定格 16 アンペア (VDE) / 20 アンペア (UL/CSA) の IEC 320 - C19 コンセントが 12 個、	CS8365L
6			IEC 309

PDU に付属の電源コード・コネクタは、適切に配線され、アースされたコンセントに接続する必要があります。次の表に、PDU ごとの電源コード・コネクタ（プラグ）と対応するコンセントを図示します。

PDU のタイプ	プラグ	コンセント	定格
DPI 32 アンペア / 250 V 3 相 Enterprise C19/C13 PDU+ (または PDU)、IEC 309 3P+N+Gnd コネクター付き			32 アンペア、250 V ac IEC 309 3P+N+Gnd
DPI 32 アンペア / 250 V 単相 Enterprise C19/C13 PDU+ (または PDU)、IEC 309 P+N+Gnd コネクター付き			32 アンペア、250 V ac IEC 309 P+N+Gnd
DPI 30 アンペア / 208 V 単相 Enterprise C19/C13 PDU+ (または PDU)、NEMA L6-30P (2P+Gnd) コネクター付き			30 アンペア、250 V ac NEMA L6-30P (2P+Gnd)
DPI 50 アンペア / 208 V 3 相 Enterprise C19/ C13 PDU+ (または PDU) (CS8365L (3P+Gnd) コネクター付き)			50 アンペア、208 V AC CS8365L (3P+Gnd)
DPI 60 アンペア / 208 V 3 相 Enterprise C19/C13 PDU+ (または PDU)、IEC 309 3P+Gnd コネクター付き			48 アンペア、250 V AC IEC 309 3P+Gnd
DPI 32 アンペア / 250 V 単相 Enterprise C19/C13 PDU+ (または PDU) P+N+Gnd (PDL P/N 56P332) オーストラリア/ニュージーランド向けコネクター			32 アンペア、250 V ac P/N 56S0332 P+N+Gnd
DPI 30 アンペア / 250 V 単相 Enterprise C19/C13 PDU+ (または PDU) P+N+Gnd (Shin Ju P/N SJ-P3302) 韓国向けコネクター			30 アンペア、250 V ac P+N+Gnd

PDU のタイプ	プラグ	コンセント	定格
0U ストリップ・モニター対象 PDU 24 C13 3φ NA 30A 固定 4.3M L21-30P 43V6109 (固定電源コード付き)			24 アンペア、250 V AC NEMA L21-30P (3P+G)
0U ストリップ・モニター対象 PDU 24 C13 3φ INTL 16A 固定 4.3M IEC309 3P+N+G 43V6108 (固定電源コード付き)			16 アンペア、250 V AC IEC 309 3P+N+Gnd

付録 A. ヘルプおよび技術援助の入手

ヘルプ、サービス、技術支援、または IBM 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、IBM がさまざまな形で提供している支援をご利用いただけます。この情報を使用して、IBM と IBM 製品に関する追加情報の入手、ご使用の IBM システムあるいはオプション装置で問題が発生した場合の対処方法の判別、およびサービスが必要になった場合の連絡先の判別を行います。

依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行して、必ずお客様自身で問題の解決を試みてください。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション製品の電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用の IBM 製品用に更新されたファームウェアおよびオペレーティング・システム・デバイス・ドライバがないか確認してください。IBM の保証条件では、製品に関わるすべてのソフトウェアおよびファームウェアの保守および更新は、IBM 製品の所有者であるお客様の責任で行っていただくとしています（ただし、追加の保守契約で保証される場合を除きます）。お客様の IBM サービス技術員は、問題の解決策がソフトウェアのアップグレードで文書化されている場合、ソフトウェアおよびファームウェアをアップグレードすることを要求します。
- お客様がご使用の環境に新しいハードウェアを取り付けたり、ソフトウェアをインストールされている場合は、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/> で、ご使用の IBM 製品がそのハードウェアおよびソフトウェアをサポートしていることを確認してください。
- <http://www.ibm.com/support/jp/ja/> にアクセスして、問題の解決に役立つ情報があるか確認してください。
- IBM サポートに提供するために、以下の情報を収集します。このデータは、IBM サポートが問題の解決策を迅速に提供する上で役立ち、お客様が契約された可能性があるレベルのサービスを確実に受けられるようにします。
 - ハードウェアおよびソフトウェアの保守契約番号（該当する場合）
 - マシン・タイプ番号（IBM の 4 桁のマシン ID）
 - 型式番号
 - シリアル番号
 - 現行のシステム UEFI およびファームウェアのレベル
 - エラー・メッセージやログなど、その他関連情報
- http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request/ にアクセスして、Electronic Service Request を送信します。Electronic Service Request を送信すると、適切な情報を IBM サポートが迅速かつ効率的に入手できるようにすることで、ユーザーの問題に対する解決策を判別するプロセスが開始されます。IBM サービス技術員は、お客様が Electronic Service Request を完了および送信するとすぐに、解決策の作業を開始できます。

多くの問題は、IBM 製品に付属のオンライン・ヘルプおよび説明資料に記載のトラブルシューティング手順を実行することで、お客様自身で解決することができます。IBM システムに付属の資料には、お客様が実行できる診断テストについても記載しています。大部分のシステム、オペレーティング・システムおよびプログラムには、トラブルシューティング手順やエラー・メッセージおよびエラー・コードに関する説明書が付属しています。ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

資料の使用

IBM システム、プリインストール・ソフトウェア (ある場合)、またはオプション製品に関する情報は、製品に付属の資料に記載されています。資料には、印刷された説明書、オンライン資料、README ファイル、およびヘルプ・ファイルがあります。診断プログラムの使用方法については、システム資料にあるトラブルシューティングに関する情報を参照してください。トラブルシューティング情報または診断プログラムを使用した結果、デバイス・ドライバの追加や更新、あるいは他のソフトウェアが必要になることがあります。IBM は WWW に、最新の技術情報を入手したり、デバイス・ドライバおよび更新をダウンロードできるページを設けています。これらのページにアクセスするには、<http://www.ibm.com/support/jp/ja/> に移動します。一部の資料は、「IBM Publications Center」(<http://www.ibm.com/shop/publications/order/>) で注文することもできます。

ヘルプおよび情報を WWW から入手する

WWW 上の IBM Web サイト <http://www.ibm.com/support/jp/ja/> には、IBM システム、オプション製品、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。IBM System x[®] に関する情報を入手するためのアドレスは、<http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/> です。IBM BladeCenter[®] に関する情報を入手するためのアドレスは、<http://www-06.ibm.com/systems/jp/bladecenter/> です。IBM IntelliStation[®] に関する情報を入手するためのアドレスは、<http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/intellistation/list.shtml> です。

IBM への Dynamic System Analysis データの送信方法

IBM に診断データを送信するには、IBM Enhanced Customer Data Repository を使用します。診断データを IBM に送信する前に、<http://www.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html> で利用条件をお読みください。

以下のいずれの方法でも、診断データを IBM に送信することができます。

- 標準アップロード: http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- システムのシリアル番号を使用した標準アップロード: http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- セキュア・アップロード: http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure
- システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:
https://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

個別設定された Web ページの作成

<http://www.ibm.com/support/mynotifications/> では、目的の IBM 製品を特定して、個別設定されたサポート Web ページを作成することができます。この個別設定されたページから、新しい技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報を検索しダウンロードしたり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

ソフトウェアのサービスとサポート

IBM サポート・ラインを使用すると、IBM 製品での使用法、構成、およびソフトウェアの問題について、電話によるサポートを有料で受けることができます。サポート・ラインについて詳しくは、<http://www-935.ibm.com/services/jp/index.wss/offering/its/a1009397> をご覧ください。

サポート・ラインおよび各種の IBM サービスについて詳しくは、<http://www.ibm.com/services/> をご覧になるか、あるいは <http://www.ibm.com/planetwide/> で、サポート電話番号をご覧ください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

ハードウェアのサービスとサポート

ハードウェアのサービスは、IBM 販売店か IBM サービスを通じて受けることができます。IBM により許可された保証サービスを提供する販売店を見つけるには、<http://www.ibm.com/partnerworld/jp/> にアクセスしてから、ページの右サイドで「パートナーを探す」をクリックしてください。IBM サポートの電話番号については、<http://www.ibm.com/planetwide/> を参照してください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

米国およびカナダでは、ハードウェア・サービスおよびサポートは、1 日 24 時間、週 7 日ご利用いただけます。英国では、これらのサービスは、月曜から金曜までの午前 9 時から午後 6 時までご利用いただけます。

付録 B. 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

商標

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

Adobe および PostScript は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Cell Broadband Engine は、Sony Computer Entertainment, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

Intel、Intel Xeon、Itanium、および Pentium は Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

重要事項

プロセッサの速度とは、マイクロプロセッサの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

CD または DVD ドライブの速度は、変わる可能性のある読み取り速度を記載しています。実際の速度は記載された速度と異なる場合があります、最大可能な速度よりも遅いことがあります。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1024 バイト、MB は 1 048 576 バイト、GB は 1 073 741 824 バイトを意味します。

ハード・ディスクの容量または通信ボリュームを表す場合、MB は 1 000 000 バイト、GB は 1 000 000 000 バイトを意味します。ユーザーが利用できる容量の合計は、稼働環境によって異なる場合があります。

内蔵ハード・ディスクの最大容量は、IBM から入手可能な現在サポートされている最大のドライブを標準ハード・ディスクの代わりに使用し、すべてのハード・ディスク・ベイに取り付けることを想定しています。

最大メモリーにするには、標準メモリーをオプション・メモリー・モジュールと取り替える必要があります。

IBM は、ServerProven[®] に登録されている他社製品およびサービスに関して、商品性、および特定目的適合性に関する黙示的な保証も含め、一切の保証責任を負いません。これらの製品は、第三者によってのみ提供および保証されます。

IBM は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、IBM ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版（利用可能である場合）とは異なる場合があります、ユーザー・マニュアルまたはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

サーバーの廃棄・譲渡時のハード・ディスク上のデータ消去に関するご注意

これらのサーバーの中のハード・ディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。従ってそのサーバーを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところがこのハード・ディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般に

- データを「ゴミ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ゴミ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- 付属のリカバリー・プログラムを使い、工場出荷状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハード・ディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際にデータが消された状態ではありません。つまり、一見消去されたように見えますが、Windows® などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

従いまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このサーバーのハード・ディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

サーバーの廃棄・譲渡等を行う際に、ハード・ディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハード・ディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、ハード・ディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁氣的に破壊して読めなくする、または、専用ソフトウェアあるいはサービス（共に有償）をご利用になられることを推奨します。

なお、ハード・ディスク上のソフトウェア（オペレーティング・システム、アプリケーション・ソフトウェアなど）を削除することなくサーバーを譲渡すると、ソフトウェア・ライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますため、十分な確認を行う必要があります。

データ消去支援サービスまたは機器リサイクル支援サービスについての詳細は、弊社営業担当員または「ダイヤル IBM」044-221-1522 へお問い合わせください。

粒子汚染

重要: 浮遊微小粒子 (金属片や微粒子を含む) や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わせられることで、本書に記載されている装置にリスクをもたらす可能性があります。過度のレベルの微粒子や高濃度の有害ガスによって発生するリスクの中には、装置の誤動作や完全な機能停止の原因となり得る損傷も含まれます。以下の仕様では、このような損傷を防止するために設定された微粒子とガスの制限について説明しています。以下の制限を、絶対的な制限としてみなしたり、使用したりしてはなりません。微粒子や環境腐食物質、ガスの汚染物質移動が及ぼす影響の度合いは、温度や空気中の湿気など他の多くの要因によって左右されるからです。本書で説明されている具体的な制限がない場合は、人体の健康と安全の保護を脅かすことのない微粒子とガスのレベルを維持するよう、実践していく必要があります。お客様の環境の微粒子あるいはガスのレベルが装置損傷の原因であると IBM が判断した場合、IBM は、装置または部品の修理あるいは交換の条件として、かかる環境汚染を改善する適切な是正措置の実施を求める場合があります。かかる是正措置は、お客様の責任で実施していただきます。

表 9. 微粒子およびガスの制限

汚染物質	制限
微粒子	• 室内の空気は、ASHRAE Standard 52.2 に従い、大気粉塵が 40% のスポット効率で継続してフィルタリングされなければならない (MERV 9 準拠)¹。 • データ・センターに取り入れる空気は、MIL-STD-282 に準拠する HEPA フィルターを使用し、99.97% 以上の粒子捕集率効果のあるフィルタリングが実施されなければならない。 • 粒子汚染の潮解相対湿度は、60% を超えていなければならない²。 • 室内には、亜鉛ウィスカーのような導電性汚染があってはならない。
ガス	• 銅: ANSI/ISA 71.04-1985 準拠の Class G1³ • 銀: 腐食率は 30 日間で 300 Å 未満

¹ ASHRAE 52.2-2008 一般的な換気および空気清浄機器について、微粒子の大きさごとの除去効率をテストする方法。Atlanta: American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers, Inc.

² 粒子汚染の潮解相対湿度とは、水分を吸収した塵埃が、十分に濡れてイオン導電性を持つようになる湿度のことです。

³ ANSI/ISA-71.04-1985。プロセス計測およびシステム制御のための環境条件: 気中浮遊汚染物質。Instrument Society of America, Research Triangle Park, North Carolina, U.S.A.

索引

日本語、数字、英字、特殊文字の順に配列されています。なお、濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

【ア行】

安全と注意 4
汚染、微粒子およびガス 32
オプションのパッケージ内容 5

【カ行】

回路ブレーカー 6, 8
ガス汚染 32
危険の注記 4
機能、PDU の 6
警告の注記 4
交換可能部品番号 19
コンポーネントと制御部、PDU 前面の 6

【サ行】

サポート、入手 25
事項、重要 30
質量 21
重要な注 4
重要な注記 4
仕様、PDU の 21
商標 29
診断データ 26
ソフトウェアのサービスとサポート 27

【タ行】

縦方向に取り付け、ラック・キャビネットに
組み込み取り付け用かぎ穴付き 17
Type 1410 ラック・キャビネットまたは Type 9308
ラック・キャビネットでの 14
Type 9307 ラック・キャビネットまたは 9956 ラッ
ク・キャビネットでの 11
注 4
注記 4, 29
粒子汚染 32
電源コードの仕様 22
電源コード・プラグおよびコンセントの説明 23
電源コンセントの仕様 22
電話番号 27
動作仕様、PDU 21

取り付けの要件 4
取り付けブラケット
1410 ラック、9308 ラック用 5, 14
9307 ラック、9956 ラック用 5, 11

【ナ行】

入手、ヘルプ 25

【ハ行】

ハードウェアのサービスとサポート 27
負荷グループ、PDU の 7
部品、PDU に付属の 5
ヘルプ、入手 25

【マ行】

モデル、PDU 1

【ヤ行】

要件、取り付けの 4

【ラ行】

ラック・マウント
ラック・キャビネット (組み込み取り付け用かぎ穴付
き) での 17
Type 1410 ラック・キャビネットまたは Type 9308
ラック・キャビネットでの 14
Type 9307 ラック・キャビネットまたは 9956 ラッ
ク・キャビネットでの 11

C

CRU 部品番号 19

D

Documentation CD 1
Dynamic System Analysis 26

I

IBM サポート・ライン 27

P

PDU

- 回路ブレーカー、電源コンセント、および電源コード
の仕様 22
- 機能 6
- 質量 21
- 仕様 21
- 正面図、コンポーネントと制御部の 6
- 動作仕様 21
- 取り付けの要件 4
- 負荷グループ 7
- 部品、付属の 5
- モデル 1
- モデルの説明 21
- ラック・キャビネット (組み込み取り付け用かぎ穴付
き) での縦方向の取り付け 17
- 1410 ラック、9308 ラック用の取り付けブラケット
5, 14
- 9307 ラック、9956 ラック用の取り付けブラケット
5, 11
- CRU 部品番号 19
- Type 1410 ラック・キャビネットまたは Type 9308
ラック・キャビネットでの縦方向の取り付け 14
- Type 9307 ラック・キャビネットまたは 9956 ラッ
ク・キャビネットでの縦方向の取り付け 11

W

Web サイト

- 個別設定したサポート 27
- サポート・ライン、電話番号 27
- 資料の注文 26



部品番号: 00FH081

Printed in Japan

(1P) P/N: 00FH081



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21